

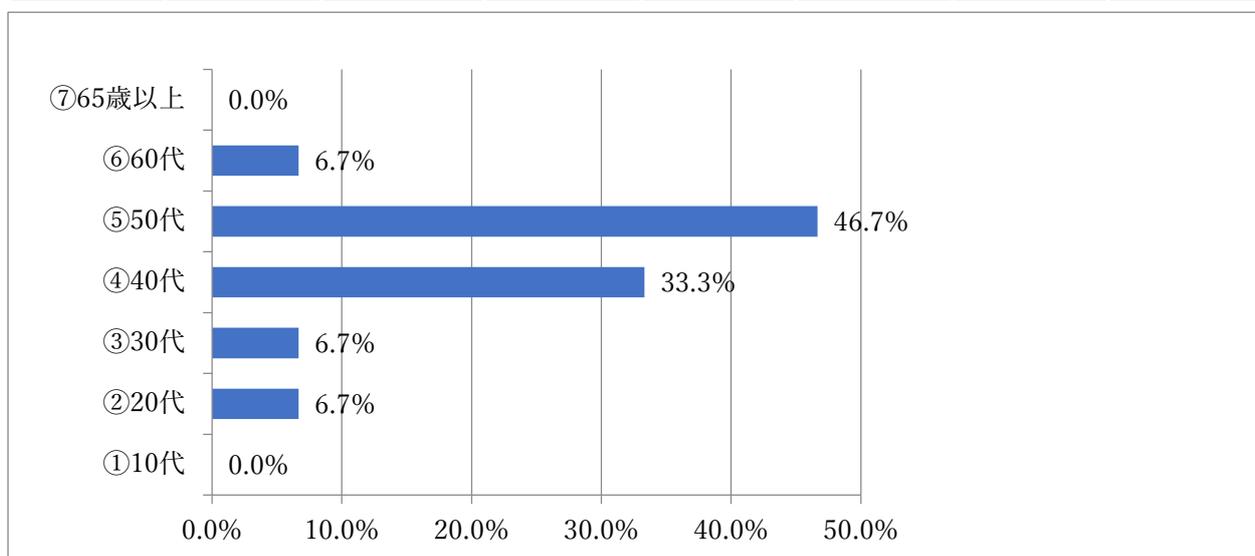
## 平成30年度 計画相談についてのアンケート(プレ調査) 結果報告

依頼数	回答数	回答率
19	15	78.9%

### ◆ 基本情報

#### ➤ ご年齢

①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦65歳以上	合計
0	1	1	5	7	1	0	15
0.0%	6.7%	6.7%	33.3%	46.7%	6.7%	0.0%	100.0%



### 調査結果

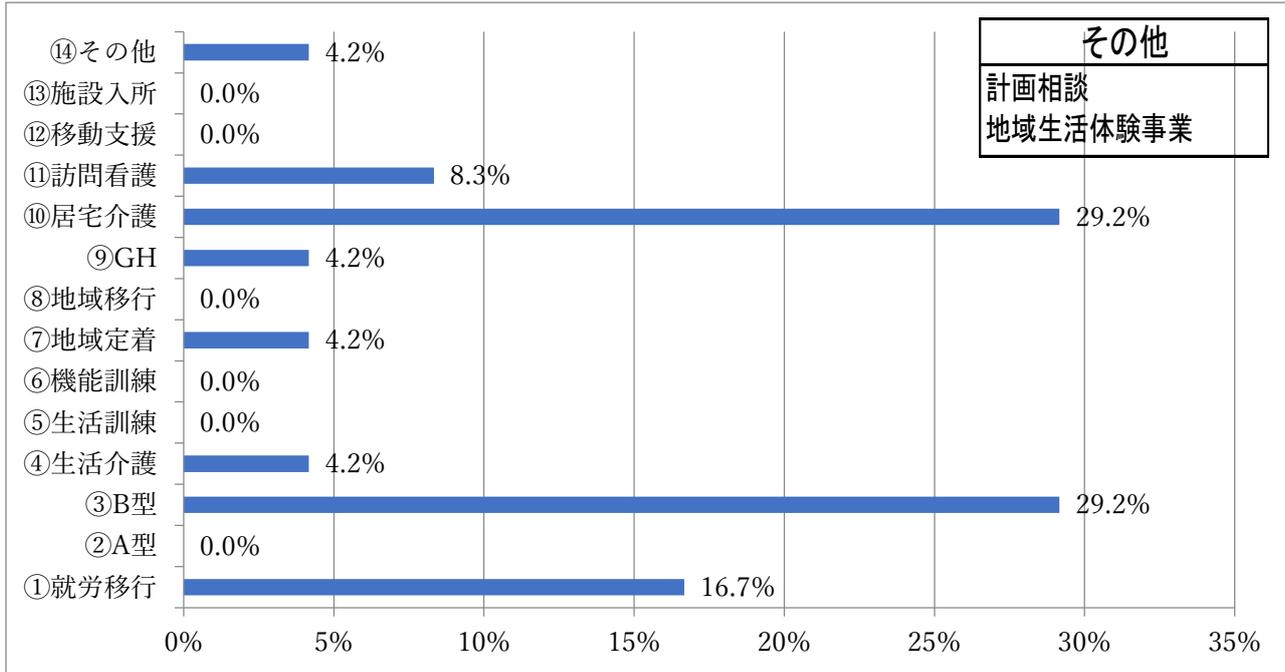
40代と50代を合わせると80%となる。平成29年3月の文京区障害者(児)実態・意向調査(以下実態調査)における「精神障害のみ」の方の年齢の分布も、同じように40~50代の割合が多く55.5%であった。  
※実態調査報告書9ページ参照。

### 考察

- 本アンケートの結果では、利用者に若年層がおらず、この年代の福祉サービスとの繋がりがどのようになっているか懸念される。若年層が少ない理由として考えられるのは、福祉サービスにはつながっているが、指定特定相談支援(以下、計画相談支援)に繋がっていない等の理由が考えられる。また家族が福祉サービスに頼らずに、家族のみで支えてしまっている可能性や、精神障害は基本中途障害であり、本人や家族の障害受容が進みにくいという背景もあり、福祉サービスの利用に行きついていないということも予想される。そのためアンケート結果に反映されていない可能性が示唆される。
- 相談支援専門員が現状支援している状況としては、精神障害者の場合、介護保険に移行するケースは少なく、一指定特定相談支援事業所で年平均一人程度である。本アンケート結果では50代の利用者が多く、今後10~15年後くらいには介護保険への移行が徐々に多くなることが予想される。介護保険と障害福祉サービスの連携は益々求められてくるであろう。

➤ ご利用している障害福祉サービス等（複数回答可）

①就労移行支援 ②就労継続支援A型 ③就労継続支援B型 ④生活介護 ⑤自立訓練(生活訓練)							
⑥自立訓練(機能訓練) ⑦地域定着支援 ⑧地域移行支援 ⑨グループホーム							
⑩居宅介護(ヘルパー) ⑪訪問看護 ⑫移動支援 ⑬施設入所 ⑭その他							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
4	0	7	1	0	0	1	0
16.7%	0.0%	29.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	合計	
1	7	2	0	0	1	24	
4.2%	29.2%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%	



**調査結果**

本アンケートは精神障害者の利用者を対象としているため、利用されている福祉サービス等の種類も障害特性が反映されている。

居宅介護支援事業と就労継続支援B型事業とを利用している方がそれぞれ29.2%ずつおり、他のサービスと比べて多かった。実態調査における「精神障害のみ」の方の「現在利用している障害福祉サービス（訪問系・日中活動系）」の分布を見ると、居宅介護・就労継続B型ともに9.6%、次いで就労移行支援事業が6.9%となっている。その他のサービス種別の利用率が0%～2.9%という分布なので、実態調査とほぼ同様の結果が得られている。※実態調査報告書52・53ページ参照。

**考察**

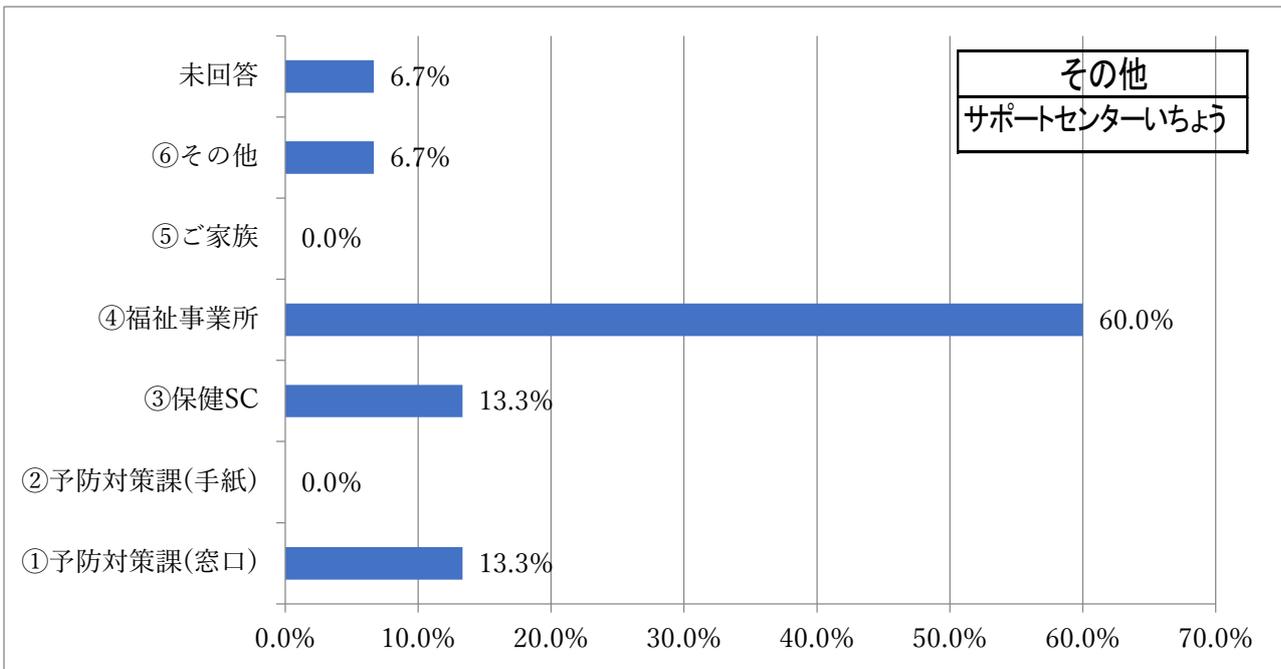
- ・ 文京区から、居宅介護事業所の利用申請があった方を紹介されることが多かったため、その傾向が本アンケート結果にも表れている。
- ・ 就労移行支援事業所が増えている中で、本アンケート結果では16.7%と比較的小さい伸び率であった。就労移行支援の利用者は、計画相談支援の利用率が低いのか(セルフプランで代用しているのか)等、より具体的に調査するか検討が必要。
- ・ 精神障害者の場合、医療と服薬の継続は原則必要である。また訪問看護の利用率も他障害者の利用率に比べて高い。そのため、精神障害者の計画相談支援では医療と福祉の連携という支援も求められていると思われる。

◆ 計画相談について

➤ どのように計画相談を知りましたか？

①予防対策課（手続きをする窓口）	②予防対策課（手続きをする窓口）からの手紙
③保健サービスセンター（保健師）	④福祉事業所 ⑤ご家族 ⑥その他

①	②	③	④	⑤	⑥	未回答	合計
2	0	2	9	0	1	1	15
13.3%	0.0%	13.3%	60.0%	0.0%	6.7%	6.7%	100.0%



**調査結果**

福祉事業所から、計画相談支援の紹介があり、利用に繋がったという回答が半数以上あり、行政窓口での紹介で繋がった利用者が28%に留まっている。実態調査によると、福祉サービスに関する情報の入手方法として多かったのは区の広報紙・病院・インターネット・区の窓口であった。※実態調査報告書38ページ参照。

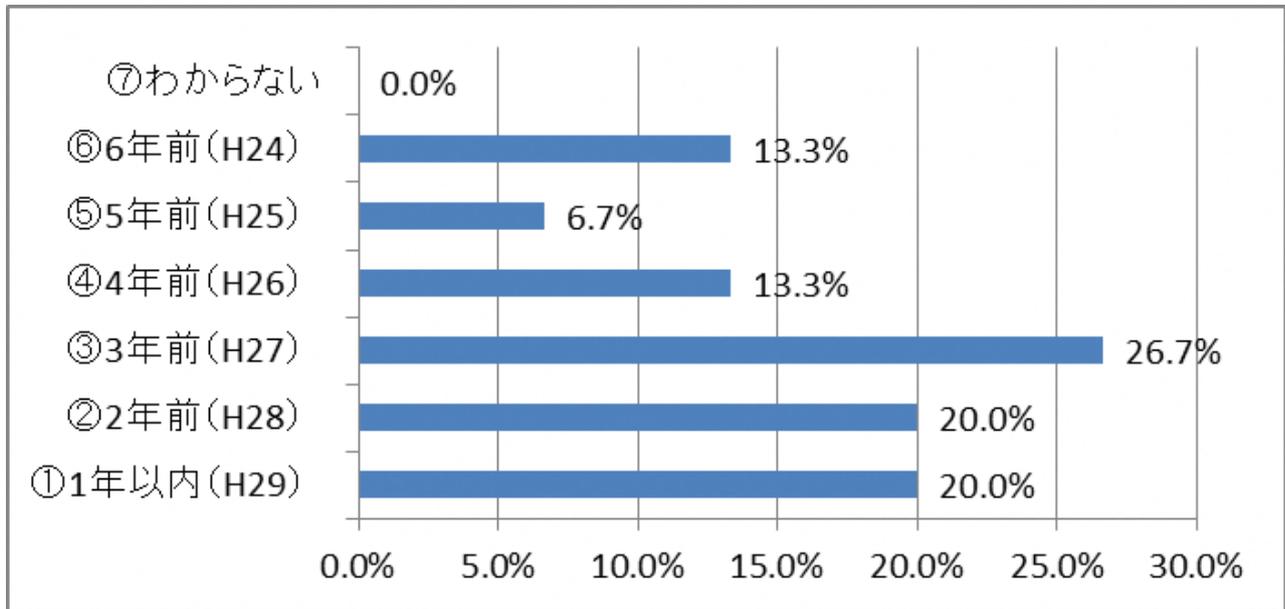
**考察**

- ・ 計画相談支援の周知のために福祉事業所の協力は不可欠であることがわかった。郵送物や配布などよりも、Face to Faceの関係の中での紹介が有効であると思われる。
- ・ 区の窓口を介さず、サービス提供事業所を利用し、そこから計画相談支援につながることもある。現に新規計画相談支援で計画立案する時も、既に利用したいサービス提供事業所が決まっていることが多い。障害福祉サービスの利用継続を希望し、新しく計画相談を導入する際は、サービス提供事業所が計画相談支援の紹介を行うため、福祉事業所が突出している可能性がある。
- ・ 実態調査では、障害福祉サービスの情報を入手する場合、広報紙・病院・インターネット・区の窓口にて知る機会が多いという調査結果が出ている。まず計画相談支援について、それらの媒体で広報している機会は、他障害福祉サービスの広報に比べ少ないと思われる。計画相談支援の内容の周知・広報は大事だが、計画相談支援に“繋げる支援”の必要性も同時に感じる。

➤ いつから計画相談を利用開始しましたか？

①1年以内 ②2年ほど前 ③3年ほど前 ④4年ほど前 ⑤5年ほど前 ⑥6年ほど前  
⑦わからない

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
3	3	4	2	1	2	0	15
20.0%	20.0%	26.7%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	100.0%



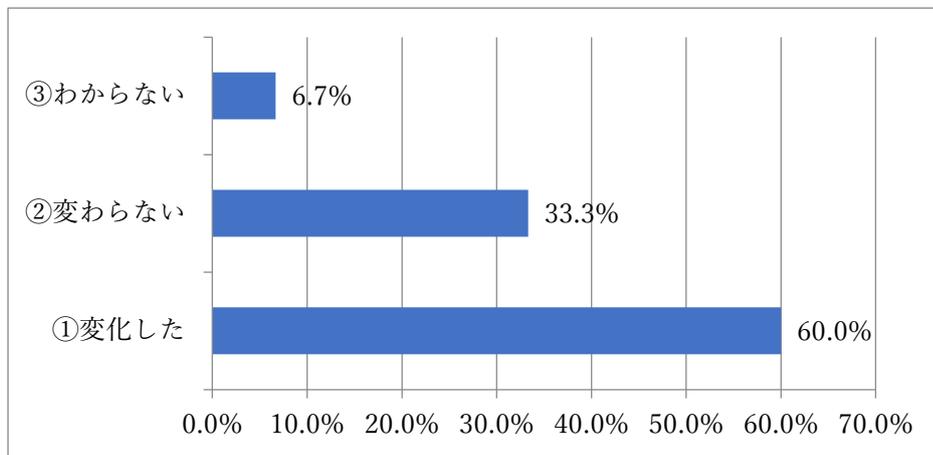
**調査結果**

「1、2、3年前」の合計が66.7%、「4、5、6年前」の合計が33.3%となっている。平成27年度のからサービス等利用計画の作成が必須になった(セルフプラン含む)時期から利用を始める方が増えている。

➤ 計画相談が入って、サービス内容や量など変化したことはありますか？

①変化した    ②変わらない    ③わからない

①	②	③	合計
9	5	1	15
60.0%	33.3%	6.7%	100.0%



➤ どのように変化しましたか？

自由記載
B型のみ利用だったが、グループホームとB型を利用している。
ヘルパーさんが週1回ペースで来るようになった。
生活意欲がなかなか出なく、不安な日々だったが、相談の上事業所に通えるようになった。
自分一人では出来づらい事がうまく解決できた。B型のみ利用だったが、退院のときに相談して、ヘルパーの利用もしている。
そばにいて相談にのってくれて心強い。病院の先生に説明してくれたり、一緒に受給者証の更新してくれて助かった。
作業所内だけでなく、相談が出来る事が本当に大切に、話をよく聞いて下さり、安心出来ます。うれしいです。
なし
自分で出来ることの範囲が広がりました。
病院のデイケアの利用から、就労移行支援の利用をした。

## 調査結果

どのような形でサービス量・内容の変化があったのかについてはデータに表れていない。

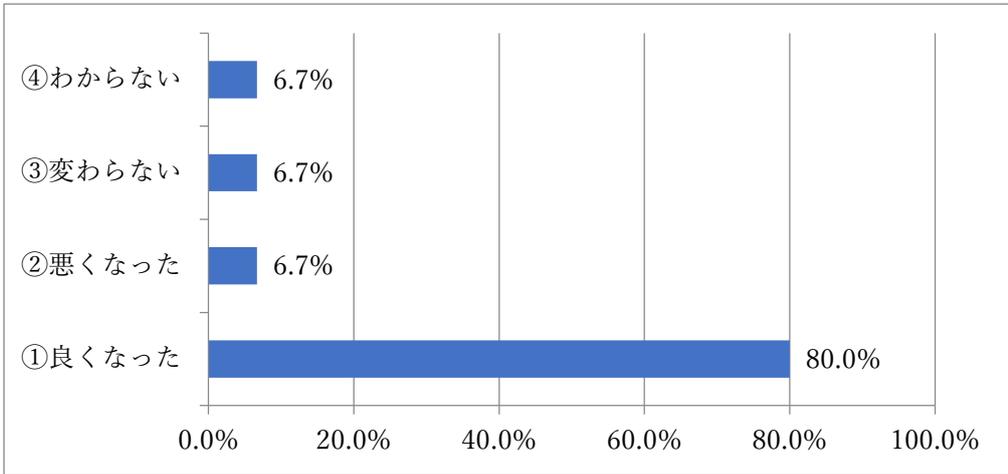
## 考察

- ・ 「相談できる人ができたことで、サービスの内容や量の変化あり」という回答が多くあった。報酬に反映されない基本相談支援の部分について、その必要性や有効性が自由記述からも読み取れる。

➤ 計画相談が入って、生活がよくなりましたか？

①よくなった ②悪くなった ③変わらない ④わからない

①	②	③	④	合計
12	1	1	1	15
80.0%	6.7%	6.7%	6.7%	100.0%



➤ どのように変化しましたか？

自由記載
少しずつですが、自信がついてきた。
部屋がきれいになってきた。
日常の立て直しが出来てきた。
ハウスヘルパーなど一人では手が回らないことが出来るようになって、良くなっている。
生きやすくなった。
前向きになりました。いつも心にためていた事がスッキリします。
自分の行動や病気の具合や日常生活での問題点などが、聞いてもらい、文章化になり、整理できること。
サポートがあるのでとても心強いです。目標も立てやすいです。
自分の近況が客観的にみれるようになった。

**調査結果**

具体的なサービス導入に伴う生活の改善と、利用者自身の前向きな心理的变化、心理的サポートの効果についての自由記載記述が多い。

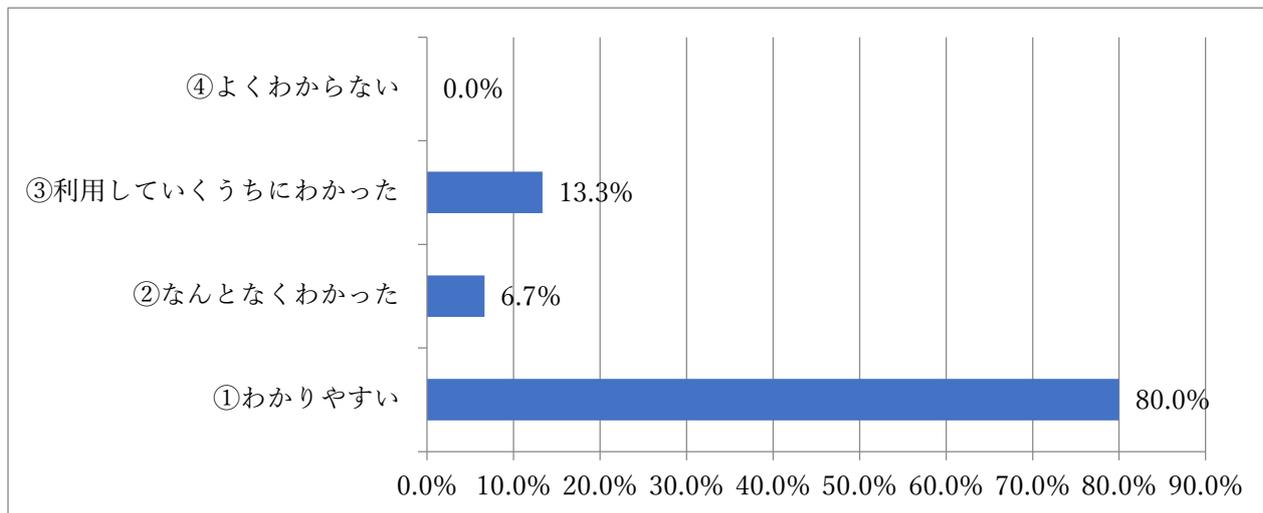
**考察**

- ・ 生活の改善について、必要なサービスの調整が出来ているからなのか、概ね前向きな意見が多い。
- ・ 不満の声も募り、内容の精査をしていけば、どのような支援が求められていて、どのような支援が求められていないのか等、表出していけるかもしれない。今後さらなるアンケート調査を実施する際は、参考にしていきたい。

➤ 計画相談についての説明は、分かりやすかったですか？

- ①分かりやすかった      ②なんとなく分かった      ③利用していくうちに分かった  
④利用していてもよくわからない

①	②	③	④	合計
12	1	2	0	15
80.0%	6.7%	13.3%	0.0%	100.0%



## 調査結果

「分かりやすかった」という回答が80%となっている。実態調査においては、計画作成の感想を回答する設問（選択肢を4つまで選べる設問）があり、その中で「相談支援専門員が分かりやすく説明してくれた」という選択肢を選んだ「精神障害のみの方」（調査数39）は、41.0%であった。

※実態調査報告書65・66ページ参照。

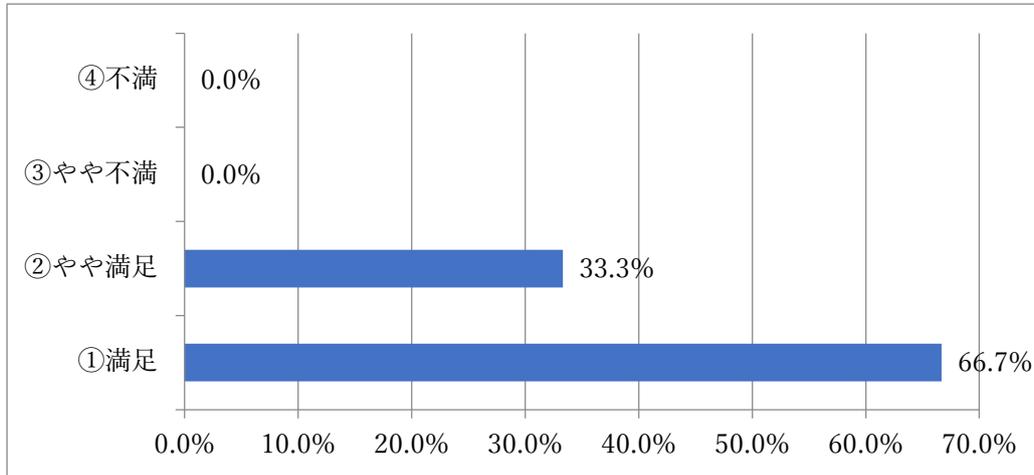
## 考察

- ・ 指定特定相談支援事業所連絡会で作成した、計画相談支援の内容を説明しているパンフレットを使って、Face to Faceの関係の中での説明が効果を発揮していると推測される。
- ・ 計画相談支援について理解している方は、計画相談支援を上手に利用できている可能性がある。
- ・ 調査報告に記載した、本アンケート結果と実態調査での結果の乖離は、どのような理由で乖離しているのか。その原因を表出し、その原因に対するアプローチが今後必要である。
- ・ 本アンケート結果（調査数15、一択）と実態調査（調査数39、複数選択）で結果に差が生まれた。本アンケート調査では、計画相談支援の“導入まで”の説明のわかりやすさを想定した。一方実態調査では、各々のサービス等利用計画の内容そのものの説明も含めたわかりやすさを想定した設問となっている。そのため、得られた結果の80.0%と41.0%の違いについては単純に比較することが難しい面もある。双方の調査の丁寧な分析が必要である。

➤ 計画相談にどの程度満足していますか？

①満足している ②やや満足している ③やや不満 ④不満

①	②	③	④	合計
10	5	0	0	15
66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%



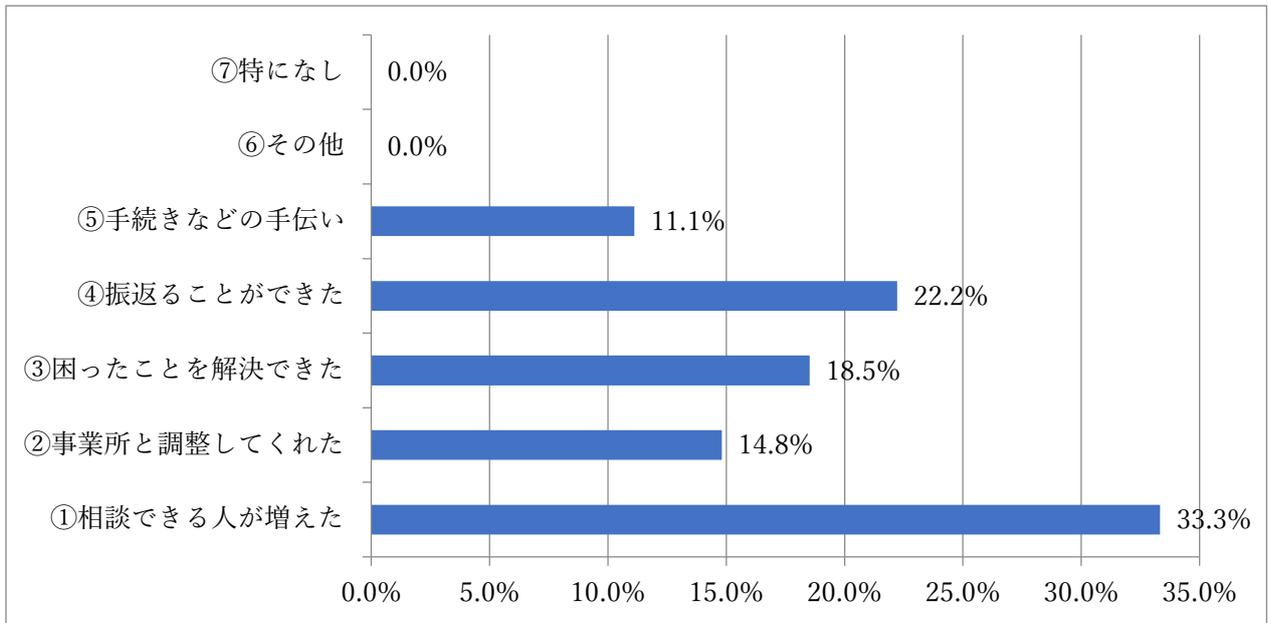
**調査結果**

計画相談支援を利用して、満足及びやや満足を含め 100%となっている。

➤ 計画相談を利用して良かったこと・役に立ったことはなんですか？

①相談できる人が増えた	②自分の代わりに事業所と調整してくれた
③生活で困ったことを相談して解決できた	④自身を振り返ることができた
⑤手続きなどやらなきゃいけないことを一緒にしてくれた	⑥その他 ⑦特になし

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
9	4	5	6	3	0	0	27
33.3%	14.8%	18.5%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%



その他
特になし

**調査結果**

「相談できる人が増えた」の次に、「自身を振り返ることができた」が2番目に多かった。

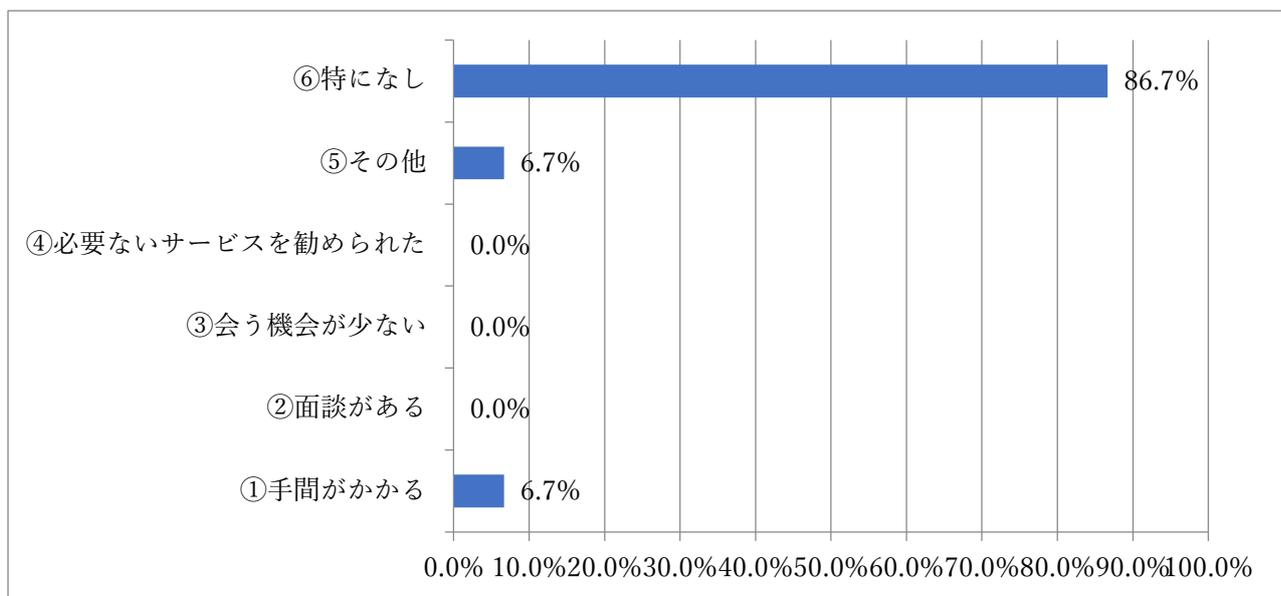
**考察**

- ・ サービスの調整支援だけではなく、困りごとの解決、振り返りとして利用されている。
- ・ 選択肢①③⑤は基本相談支援に関すること、選択肢②④はいわゆる計画相談に関すること。どちらも大切な支援だが、基本相談支援での相談支援専門員の頑張りや、利用者の満足度に直結していることが分かる。そのためにも、基本相談支援に関する報酬面での支えが必要である。
- ・ 「自身を振り返ることができた」の回答数が多いことについて、サービス変更の検討や調整以外にも、モニタリングが機能していることの表れだと思われる。利用者の自己洞察や自己成長につながっていく面がある。

➤ 計画相談を利用して良くなかったこと・役立たなかったことはなんですか？

- |                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| ①手続きに手間がかかる     | ②困っていないのに面談がある            |
| ③会う機会が少なく相談しづらい | ④自分では必要だと思っていないサービスを勧められた |
| ⑤その他            | ⑥特になし                     |

①	②	③	④	⑤	⑥	合計
1	0	0	0	1	13	15
6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	86.7%	100.0%



その他
特になし

**調査結果**

選択肢⑤「その他」を選択しながら、自由記述を書いていない方がいる。まだまだ支援者が拾い切れない利用者の方の気持ちや声がある。

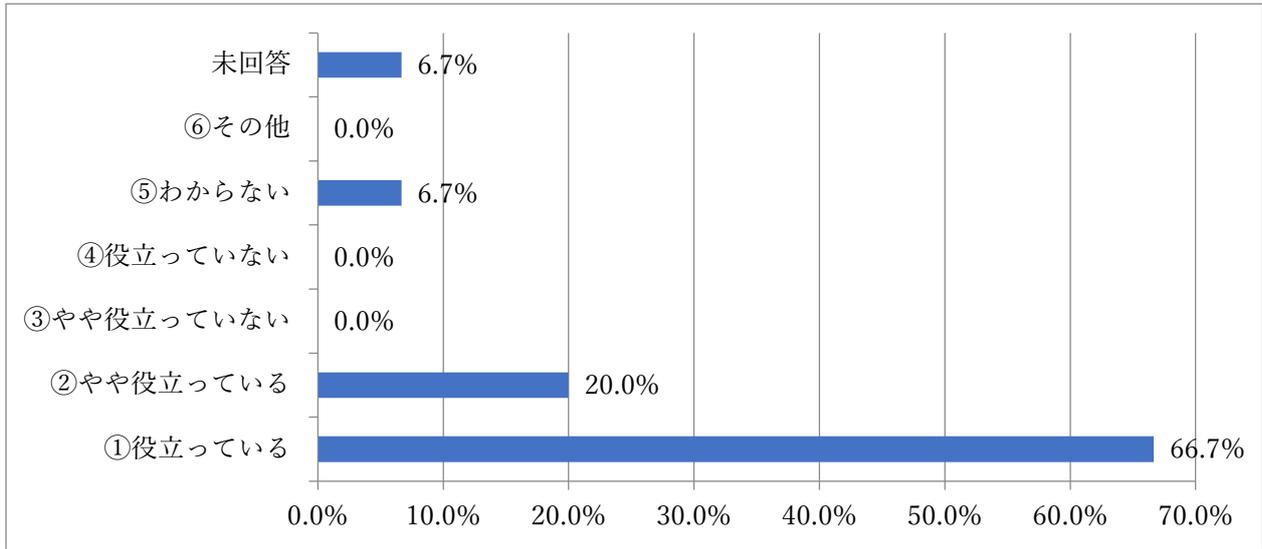
➤ ご自身の夢や希望をお聞かせください。

普通の生活をしながら働くこと。
就職して生活を安定させたい。
自立して結婚したい。
部屋をきれいに片付けたい
生活がうるおい、楽しい生活ができるようになりたい。
一日も早く9:00～5:00勤務が出来るようになりたい。
定期的に相談にのってもらえて、自身を振り返ることができた。
親がいなくなっても、これから30年生活したい。彫刻を一生の仕事としてがんばりたい。たまにマンガも描きたい。あかりのスタッフさんに困ったときに助けてほしい。
毎日少しでも気持ちをおちつかせて、リラックスして、マイペースでもいいから、おだやかになりたい。何か人のためにしたい、今はわからないけど。
希望は仕事が出来ただけ長く、6代になっても出来るように日々健康んい気を付け、続けられたら思っています。
将来は就労したいので、一歩でも近づけるように努力したいです。整理や料理をきちんとできるようにになりたいです。
生きがいのある毎日を送ること。

➤ 計画相談はそこ自身のご自身の夢や希望の実現のために役に立っていますか？

①役立っている    ②やや役立っている    ③やや役立っていない    ④役立っていない  
 ⑤わからない    ⑥その他

①	②	③	④	⑤	⑥	未回答	合計
10	3	0	0	1	0	1	15
66.7%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	100.0%



その他

特になし

**調査結果**

就労に向けた夢が多かった。実態調査においては、「地域で安心して暮らしていく為に必要な施策」を問う設問（複数回答）（※実態調査報告書 42 ページ参照。）で、「雇用・就労支援の充実」が 19.5%となっている。さらに、「『こころのバリアフリー』のために力を入れるべきこと」を問う設問（複数回答）（※実態調査報告書 45 ページ参照。）では、「障害者の一般就労の促進」が 30.2%と最も多かった。

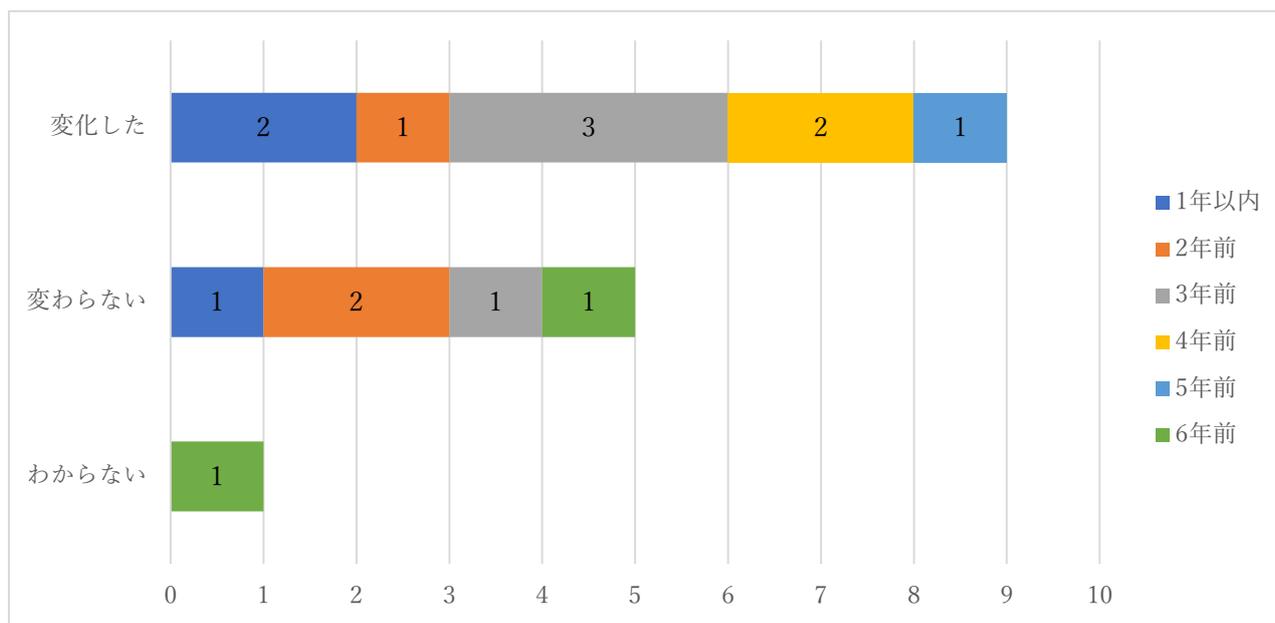
**考察**

- ・ 自由記載であり、抽象的な質問項目だったため、回答率は少ないと想定していたが回答率は高かった。自由記述に記載されている、利用者の希望がサービス等利用計画に反映されているかどうか重要。
- ・ 本アンケート回答者の計画相談支援に対する満足度は非常に高い。しかしアンケート回答をしていない利用者の方々の、夢や希望に対して、計画相談支援がどれだけ貢献できているのか、支援者自身が支援を振り返る機会も必要である。
- ・ 就労に対するニーズは多く、就労そのものが人生の夢や希望とつながりやすい状況にある。就労移行支援利用者が3名だったことを踏まえると、他障害福祉サービスを利用している方も就労を目指している人が多くいると思われる。
- ・ 利用者の夢や希望を叶えていくには、既存のフォーマルな資源だけでは成しえない。サービス等利用計画の“等”の部分である、インフォーマルな資源の活用も、計画相談支援に盛り込むことも重要である。

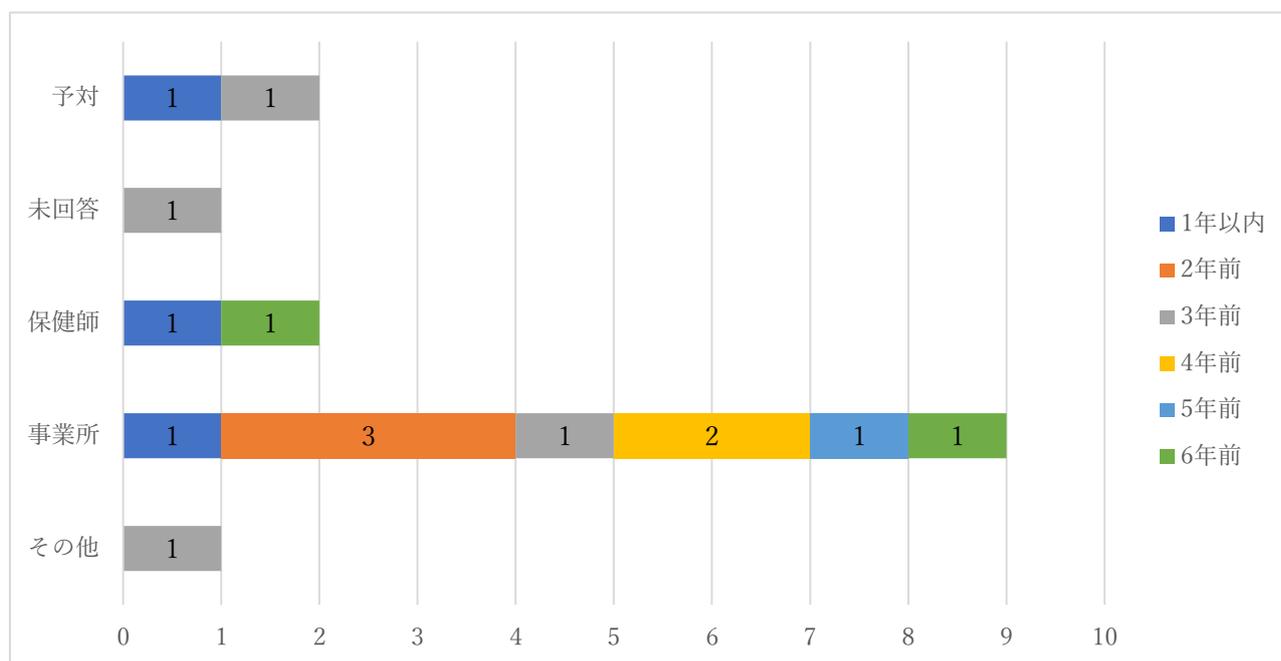
- 計画相談に今後期待することがありましたらご記入ください。

特になし。
特になし。
前向きに生活できるように、宜しくお願いします。
これからも色々相談にのってもらいたい。
目標が出来るので、今後も相談に乗ってもらえたらと思う。
なるべく同じスタッフさんに見守ってもらいたい。長く続けてほしい。私が孤独死しないように助けてほしい。
良くわからないけど、今のようにしてほしいです。
業者との連携を強くして、より良い方向にいうようにして頂きたいです。
近況報告のより詳しい相談。

- いつから計画相談を利用開始しましたか？
- 計画相談が入って、サービス内容や量など変化したことはありますか？



- いつから計画相談を利用開始しましたか？
- どのように計画相談を知りましたか？



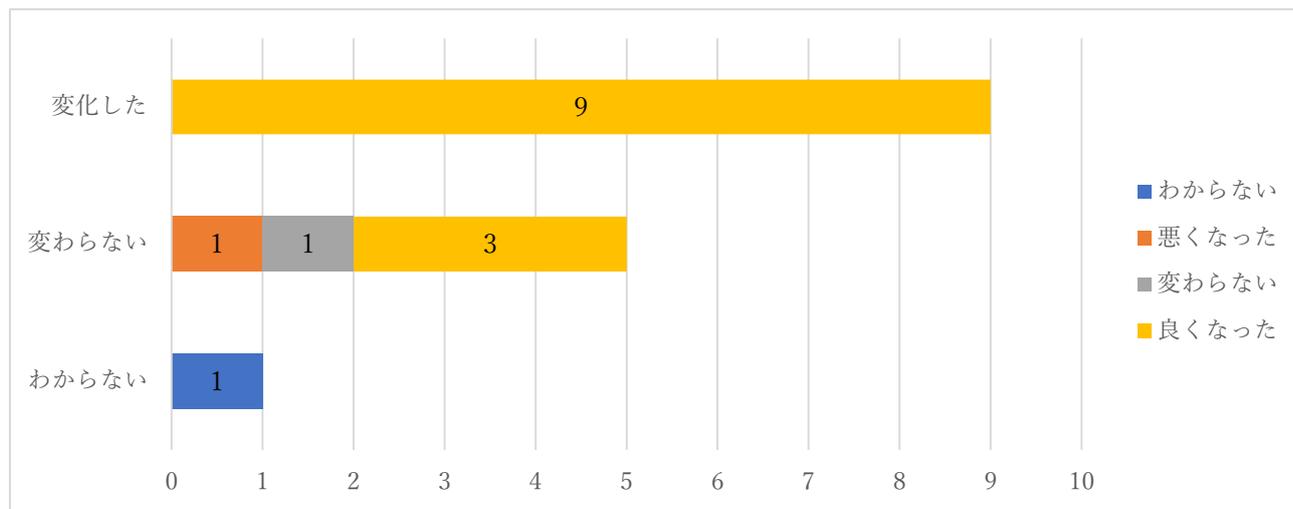
## 調査結果

福祉事業所から計画相談支援の紹介を受けて利用した方が、全体の60%を占めている。

## 考察

今後も福祉事業所からの計画相談支援の紹介は重要であるが、一方予防対策課や保健師からのアプローチで計画相談支援に繋がった方は少ない。予防対策課や保健師から計画相談支援に繋がってもらうことをさらに強化していく必要性を感じる。また計画相談支援までの“つなぎの支援”の拡充も必要である。

- 計画相談が入って、サービス内容や量など変化したことはありますか？
- 計画相談入って、生活がよくなりましたか？



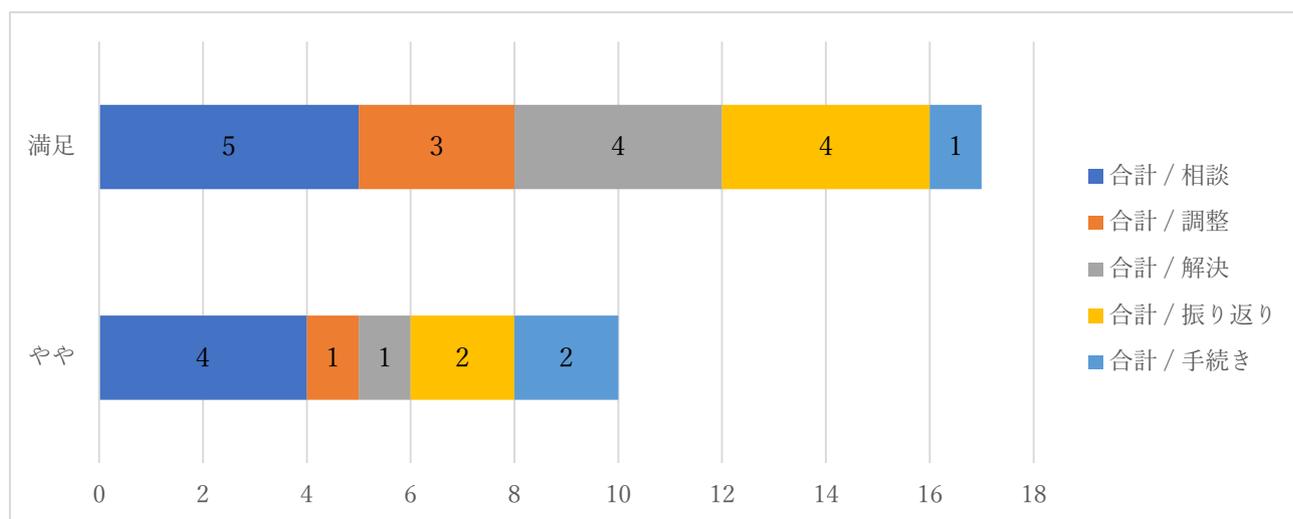
### 調査結果

サービスの量や内容に変化があったという回答が、全体の60%を占めている。  
 サービスの量や内容に変化があった方で、生活が良くなったという回答は100%である。

### 考察

サービスの量や内容に変化があった方々に対しても、希望やニーズに合ったサービス提案が出来ているということから、満足度も高いと思われる。

- 計画相談にどの程度満足していますか？
- 計画相談を利用して良かったこと・役に立ったことはなんですか？



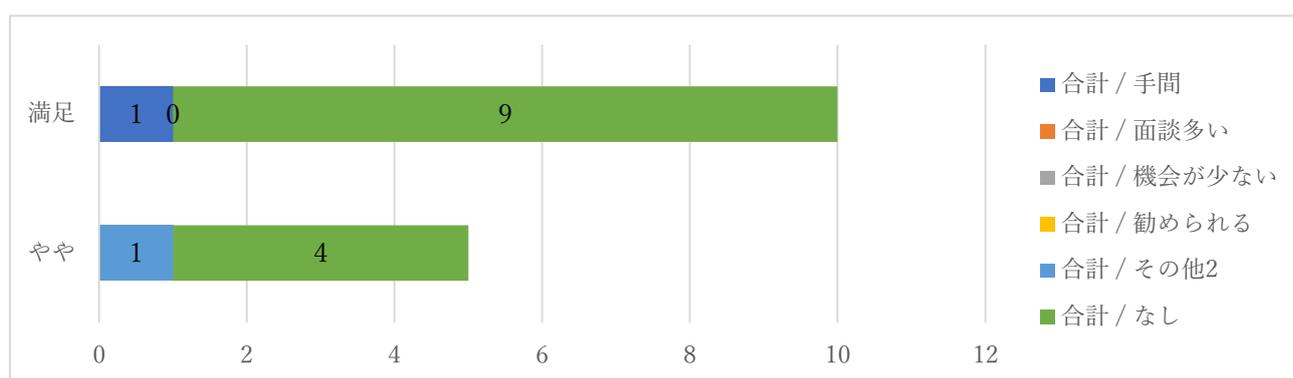
### 調査結果

相談が出来る・問題解決に至った、という相談支援は基本相談支援の部分である。一方、サービス調整・振り返り・手続きの支援という相談支援は計画相談支援の部分と分けることができる。良かったことや役だったことでは、およそ基本相談支援 5 割、計画相談支援 5 割の割合である。

### 考察

現状の報酬体系上、基本相談支援については無報酬となっている。本アンケート結果を踏まえると、利用者が、良かった・役に立ったと思った支援の半分以上が無報酬による支援となっている。

- 計画相談にどの程度満足していますか？
- 計画相談を利用して良くなかったこと・役立たなかったことはなんですか？



### 調査結果

計画相談支援を利用して、満足及びやや満足を含め 100%となっており、計画相談支援を利用して行く上で、ネガティブな意見はほぼなかった。若干手続きの手間というところで、不満があった程度であった。

## ○本調査の目的の確認

- ・ 計画相談を利用しての利用者の思い・ニーズを知り、今後の支援に活かす。
- ・ 計画相談のメリット・デメリットを把握し、周知啓発に活かす。

⇒今回の調査結果は、計画相談を利用することのメリットを十分に示している。

## ○全体の考察について

回収率は8割程度。配布19、回答15。

総じて計画相談に対する高い評価が得られる結果となった。日々の相談支援の取り組みが無駄ではなかったと思っただけの良い結果である。留意点として、回答者の多くが、このようなアンケート調査を支援者から依頼できる関係性の方々だ、という点である。普段の良好な関係性が生み出した結果とも言える。反面、否定的な意見、不満に思っていることが見えなかったことは課題である。

しかし本アンケート調査結果では、計画相談支援の質がある程度保たれているということを示唆している。今後もより質を高めた計画相談支援の継続と質の担保をしていくため、区内の相談支援事業同士の連携も深め、相談支援員同士が、自身の支援内容を振り返られる場も必要になるであろう。

区内の相談支援体制の強化を図るためにも、計画相談支援の普及と質の担保だけでなく、一般相談支援(委託相談支援)や専門相談支援も含めた、全体的に重層的な相談支援体制の構築が必要である。

また計画相談支援事業所だけでは、利用者の希望や夢、ニーズに対してアプローチは出来ない。サービス等の“等”に象徴されるインフォーマルな資源の活用はもとより、日々利用者の身近にいる、サービス提供事業所の支援者による“相談力”の向上も求められる。

本アンケート調査では実施出来なかった、セルフプランでサービスを利用している方々の声も拾えないだろうか。受給者証の統計で把握できる数字はあると思われる。

今回はプレ調査ということで、本調査への取り組みが検討されるわけだが、障害種別を超えて本調査を実施しようとする、準備・実施・集計・考察と膨大な時間と、費用が必要になる。そのため、今回のプレ調査の質問項目を、次回の「文京区障害者（児）実態・意向調査」により多く取り入れて頂く形で、今回の調査の成果をより大きなものとしてできないか模索したい。

以上

## 計画相談についてのアンケート(プレ調査)

### ◇ アンケートの目的

- 計画相談を利用してどうだったか、利用者の声から良かった点、悪かった点を明らかにする。
- 事業者を増やしサービスの質を向上していくため、周知啓発活動等の取り組みに活かす。

### ◇ 対象

- 文京区内の障害福祉サービスを利用している文京区民
- 精神障害がある方
- 平成30年9月から11月の間に、サービス等利用計画の更新及びモニタリングがあり、ご協力いただける方

### ◇ 方法

- アンケート調査(A42~3枚、10項目程度)
- 選択肢方式と自由記述の組み合わせ
- 表面は支援者と共有できる基本情報、裏面はサービス等利用計画の感想など  
⇒返信用封筒を渡して本人に投函してもらう

### ◇ 今後のスケジュール

6月 連絡会でアンケートのたたき台を行政と共有

8月 アンケート完成

9~11月 調査

12月 集計(基幹が担当)

⇒部会・親会に報告

## 障害福祉サービスをご利用の皆様へ

### アンケートのお願い

#### ◆ 調査の目的

平成 24 年度からヘルパーや施設を利用する際に、サービス等利用計画（以下：計画）を立てることが必要となりました。私たち指定特定相談支援事業所は、皆さまの人生がより豊かになるために、希望や想いの実現に向けた計画作成を目指してきました。しかしながら、実際にそれが本当に皆さまのお役に立っているのか、サービス利用に関する不備や改善点はないか、確認する機会がありませんでした。

そのため、このアンケートでは、計画を利用されている皆さまからのご意見を伺い、計画を利用している実情（良い点・悪い点）を明らかにしたいと考えています。また、課題点を改善し、サービスの質の向上を目指すために役立てていきたいと考えています。

アンケートには、皆様のご意見を率直にご記入いただきたいと思います。ご記入いただく中で、ご不明な点につきましては、支援者の方と一緒にご記入ください。

お手数をおかけしますが、アンケートのご記入に、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ぶんきょう計画相談調査ワーキンググループ

## 基本情報

### ➤ ご年齢

①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦65歳以上

### ➤ ご利用している障害福祉サービス等（複数回答可）

①就労移行支援 ②就労継続支援A型 ③就労継続支援B型 ④生活介護 ⑤自立訓練(生活訓練)  
⑥自立訓練(機能訓練) ⑦地域定着支援 ⑧地域移行支援 ⑨グループホーム  
⑩居宅介護(ヘルパー) ⑪訪問看護 ⑫移動支援 ⑬施設入所  
⑭その他（ )

## ◆ 計画相談について

### ➤ どのように計画相談を知りましたか？

①予防対策課（手続きをする窓口） ②予防対策課（手続きをする窓口）からの手紙  
③保健サービスセンター（保健師） ④福祉事業所 ⑤ご家族  
⑥その他（ )

### ➤ いつから計画相談を利用開始しましたか？

①1年以内 ②2年ほど前 ③3年ほど前 ④4年ほど前 ⑤5年ほど前 ⑥6年ほど前  
⑦わからない

### ➤ 計画相談が入って、サービス内容や量など変化したことはありますか？

①変化した ②変わらない ③わからない

どのように変化しましたか？

【自由記述欄】

### ➤ 計画相談入って、生活がよくなりましたか？

①よくなった ②悪くなった ③変わらない ④わからない

どのように変化しましたか？

【自由記述欄】

裏面へ続きます。

- 計画相談についての説明は、分かりやすかったですでしょうか？

①分かりやすかった      ②なんとなく分かった      ③利用していくうちに分かった  
④利用していてもよくわからない

- 計画相談にどの程度満足していますか？

①満足している      ②やや満足している      ③やや不満      ④不満

- 計画相談を利用して良かったこと・役に立ったことはなんですか？

①相談できる人が増えた      ②自分の代わりに事業所と調整してくれた  
③生活で困ったことを相談して解決できた      ④自身を振り返ることができた  
⑤手続きなどやらなきゃいけないことを一緒にしてくれた  
⑥その他 (      )  
⑦特になし

- 計画相談を利用して良くなかったこと・役立たなかったことはなんですか？

①手続きに手間がかかる      ②困っていないのに面談がある  
③会う機会が少なく相談しづらい      ④自分では必要だと思っていないサービスを勧められた  
⑤その他 (      )  
⑥特になし

- ご自身の夢や希望をお聞かせください。

【自由記述欄】

- 計画相談はそのご自身の夢や希望の実現のために役に立っていますか？

①役立っている      ②やや役立っている      ③やや役立っていない      ④役立っていない  
⑤わからない      ⑥その他 (      )

- 計画相談に今後期待することがありましたらご記入ください。

【自由記述欄】

ご協力ありがとうございました。